

## 白毛4号墳の調査



白毛4号墳調査トレンチ (西からの近景)

1991年5月

太子町教育委員会

# 例 言

1. 本書は、兵庫県掛保郡太子町山田字白毛688番地に所在する「白毛4号墳（旧山田30号墳）」の調査概要報告書である。
2. 調査は、株式会社JR西日本、山陽新幹線京見山トンネル口落石止擁壁新設工事に伴い平成3年2月11日から2月15日に発掘調査を実施した。
3. 調査は、太子町教育委員会が主体となり、同社会教育課三村修次・田村三千夫・海野浩幸が担当した。
4. 本調査・整理作業にあたっては、玉田喜作、藤井昭子、小山真紀、岩村千穂、首藤聖各氏の協力を得た。
5. 遺物の実測、トレースは首藤が行なった。
6. 本書の執筆・編集は、田村・海野が担当した。

## 目 次

1. 調査に至る経過・・・・・・・・・・ 2
2. 調査の概要・・・・・・・・・・ 4
3. まとめ・・・・・・・・・・ 4

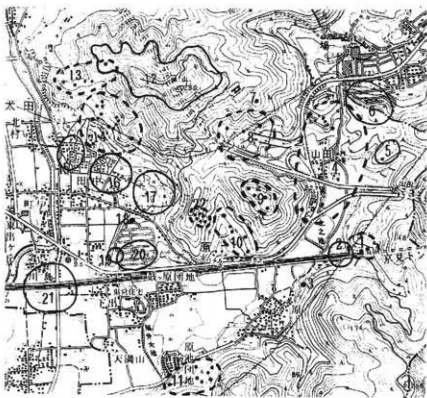
## 挿図目次

- 第1図 周辺遺跡分布図・・・・ 1
- 第2図 調査地区平面図・・・・ 2
- 第3図 土層図・・・・・・・・ 3
- 第4図 出土遺物実測図・・・・ 4

## 写真目次

- 写真1 調査前状況・・・・・・・・ 5
- 写真2 土層断面（A-A'断面）・・・・ 5
- 写真3 土層断面（A-A'断面部分）・・・・ 6
- 写真4 土層断面（B-B'断面）・・・・ 6





第1図 周辺遺跡分布図 (S=1/25000)

- |                  |            |
|------------------|------------|
| 1. 白毛4号墳 (白毛古墳群) | 12. 楯岩城跡   |
| 2. 山田遺跡          | 13. 城山古墳群  |
| 3. 原北町古墳         | 14. 黒岡古墳群  |
| 4. 山田古墳群         | 15. 黒岡神社遺跡 |
| 5. 桃山遺跡          | 16. 田中遺跡   |
| 6. 小丸山遺跡         | 17. 原坂遺跡   |
| 7. 聖古墳           | 18. 黒岡山古墳  |
| 8. 山田大山古墳群       | 19. 黒岡山墳墓群 |
| 9. 北山古墳群         | 20. 原坂弥生遺跡 |
| 10. 郷ノ谷古墳群       | 21. 川島遺跡   |
| 11. 塚村古墳群        | 22. 鷺山古墳群  |

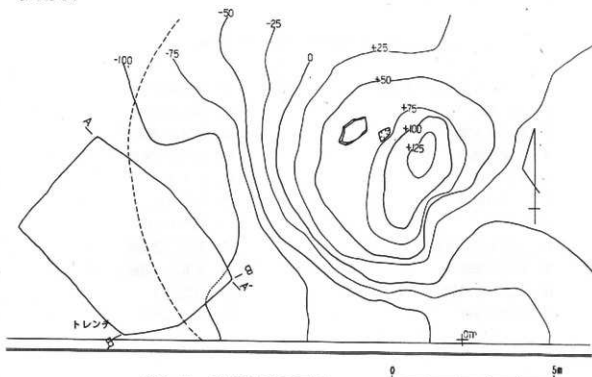
# 白毛4号墳（旧山田30号墳）の調査

1. 遺跡の所在地 兵庫県揖保郡太子町山田字白毛688番地
2. 調査主体者 太子町教育委員会
3. 調査担当者 三村修次 田村三千夫 海野浩幸
4. 調査期間 平成3年2月11日～2月15日
5. 調査面積 2.4㎡

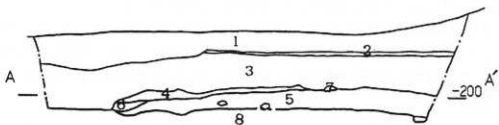
## 6. 調査に至る経過

白毛4号墳（旧山田30号墳）は、京見山（標高216m）が北へ伸びる尾根の西面に存在し、総数13基程で古墳群を形成する。4号墳は山陽新幹線トンネルの北側で、特異な石室を持つ13号墳の西に位置する。今回、株式会社JR西日本による山陽新幹線落石止擁壁新設工事に先だて、工事予定地内に4.00m×6.00mのトレンチを設定し、墳丘裾部確認調査を実施した。

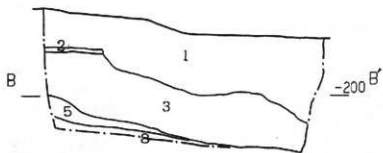
なお4号墳は現状では、径約7.00m、高さ約1.5m、を測り、横穴式石室を内部主体とする円墳と思われる。墳頂部には盗掘坑があるが、主体部までには至っていないようである。



第2図 調査地区平面図



トレンチ北壁断面



トレンチ東壁断面



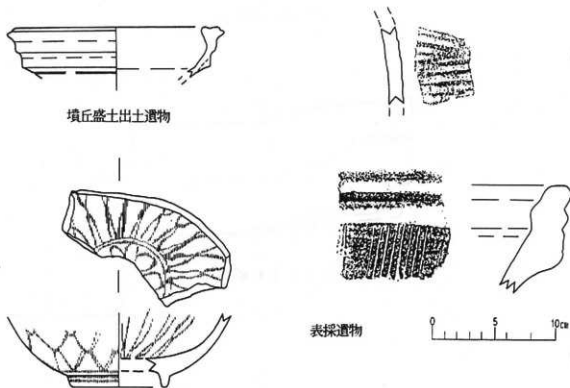
第3図 土層図

- |                          |                 |
|--------------------------|-----------------|
| 1. 盛土 (真砂土)              | 5. 暗茶色土 (填丘盛土)  |
| 2. 旧表土                   | 6. 淡灰黄色土 (填丘盛土) |
| 3. 流土 (淡黄色真砂土)           | 7. 淡黄色土         |
| 4. 暗灰色土ブロック混り淡黄色土 (填丘盛土) | 8. 地山・岩盤        |

## 7. 調査の概要

地表面下0.80m～1.40mに盛土及び流土が厚く堆積し、その下に墳丘盛土である暗灰色土ブロック混り淡黄色土と暗茶色土の2層が存在する。

遺物は暗茶色土から須恵器が一点出土した。須恵器は口縁の一部であるが、器種は不明である。焼成は堅緻で外面は褐色、内面は黒灰色を呈し、両面とも回転ナデ調整されている。口縁端部に2条の凹線を施し、胴部には2条の突帯がみられる。復原径は8.8cmである。



第4図 出土遺物実測図

## 8. まとめ

調査の結果、墳丘西側の裾部を確認することが出来たが、周濠・墳丘裾施設等は検出されなかった。これらのことから、白毛4号墳は周濠・墳丘裾施設等をもたない、径16.00m前後の円墳と推定される。



写真1 調査前の状況（東から）



写真2 土層断面（A-A'北壁断面）







写真3 土層断面 (A-A'北壁断面部分)



写真4 土層断面 (B-B'東壁断面)

## 埋蔵文化財発掘調査概要

太子町

遺跡の名称	白毛4号墳(旧山田30号墳)	遺跡台帳 番号	兵庫22-353
所在地	兵庫県揖保郡太子町山田字白毛東688番地		
調査の主体及び組織	太子町教育委員会	調査担当者	三村修次 田村三千夫 海野浩幸
原因者(工事主体)	(株)JR西日本	工事の目的及び内容	落石止擁壁新設工事
発掘調査の期間	自 平成3年2月11日 至 平成3年2月15日	調査費及び負担者	(株)JR西日本
発掘通知年月日	平成3年2月1日 太教70号	発掘通知者	太子町教育長 山田良一
遺物発見年月日及び氏名		発掘通知(文化庁より)	
遺跡取扱いの結果	保存 一部保存 破壊	報告書の有無	報告書 概報 なし
調査概要	立地・外形・遺構の状況・遺物の内容及び数量等を記入し遺跡構えの図面・写真は必ず添付のこと。		
立地	太子町の東部、京見山が北へ伸びる尾根の西面に、約13基が存在する。4号墳は、山陽新幹線トンネルの北側で、13号墳の西側位置する。		
外形	現状で径約7.00m、高さ約1.50mを測り、横穴式石室を内部主体とする円墳と思われる。墳頂部には盗掘坑があるが主体部にまで至っていないようである。		
遺構	工事予定地内に4.0m×6.0mのトレンチを設定して、墳丘裾部の確認調査を実施し、トレンチ内において墳丘西側の裾部を確認することができた。周濠・墳丘施設等は検出されなかった。		
遺物	墳丘盛土である暗茶色土より、須恵器が一点出土した。		
まとめ	今回の調査で、白毛4号墳は周濠・墳丘裾施設等をもたない径約16.00mの円墳と推定される。		

